Creative Enzymes®

バチルス・リケニフォルミス由来のキチナーゼ18A、組換え品

Cat. No. NATE-1378

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キトサナーゼは、部分的に脱アセチル化されたキトサンにおけるN-アセチル-D-グルコサミンとD-グルコサミン残基の間のβ (1,4) リンケージのエンドヒドロリシスを触媒します。ストレプトマイセス・グリセウス由来のキトサナーゼは、キトサンとカルボキシメチルセルロースの両方を加水分解する能力があります。これは、ムコール目に属する真菌の細胞壁の溶解に使用されます。いくつかの種類の微生物に存在します。
別名	キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

種	バチルス・リケニフォルミス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.14
分子量	49.2 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
濃度	1 mg/mL
最適pH	7.5
最適温度	45-55 °C
特異性	キチンとキトサン。

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。